



であなたの手元に届くwebマガジン

おばこ稲作情報



2026年6月 No. 7 4

JA秋田おばこ

田植え時期でほ場間差大きい

分げつ促進と中干しの準備

6月10日に生育調査を行いました。5月中旬までに田植えをしたほ場は生育旺盛で、例年よりも数日早く進んでいます。一方、5月中旬以降の田植えほ場では、例年並みくや遅れている印象です。

異常還元(ワキ)やフェーン風の影響を受けたほ場では、スタートダッシュが遅れています。中干しまでの残り2週間が勝負時！天気も続きそうですので、この機を逃さずに分げつ促進を図りましょう。

田植え日の区分け

早植え
~5/19

標準植え
5/20~5/25

遅植え
5/26~

田植えの早晩で生育に大きな差が出ています！田植え日を基準に水管理等をお願いします。

【5月19日までの田植え】

葉色も濃く、分げつ発生も旺盛です。このまま、飽水管理や浅水管理を続けて、目標茎数確保へスタートをかけましょう！ただし、過繁茂に注意。6月20日までに、一株あたり17本(70株植え)となったなら、1週間深水管理をして一茎の充実を図ります。その後、中干しに入ります。いずれにせよ、稲体、茎数をよく確認して、早めの中干し開始が今年のポイントです。

【5月20~25日田植え】

ほぼ例年どおりの生育です。分げつの発生が始まっていますが、異常還元(ワキ)や植え痛みの影響を受けたほ場では茎数がやや少なめ。中干し開始までの残り2



6/13~7/12

気温 高い



降水量 平年並か多い



日照時間 ほぼ平年並



暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多いでしょう。平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

週間で目標茎数を確保できるように、飽水管理や浅水管理とします。異常還元(ワキ)も発生していますので、分げつ発生の勢いを止めないためにも、ガス抜きの実施(田面露出か水の入れ替えなど)をしてください。稲体、茎数をよく確認して、いつもより早めの中干し開始が今年のポイントです。

【5月26日以降の田植え】

ようやく分げつの発生が始まりました。田植え後は、気温があつたものの、東風が断続的に吹き、植え痛みが見られました。早期に目標茎数を確保できるように、飽水管理や浅水管理とします。この期間の田植えほ場では、中干し開始がどうしても遅くなってしまううえ、幼穂形成期前までには中干しを終えていなければなりません。そのため、異常還元(ワキ)対策の田面露出と合わせて、先に溝切りを実施しておくことで、水管理と中干しが効率

早植えほ場 生育旺盛です！

有効茎決定期(6/25頃)の目標茎数 346本/m²確保できているかどうか？
中干し開始判断を早めに行うこと！
【346本/m²の目安】
70株植: 16本/株
60株植: 19本/株
50株植: 23本/株

標準植えほ場 もうちょいガンバ！

6/25頃までに分げつ促進の水管理！
飽水管理や浅水管理に加えて、ガス抜きの田面露出か水の入れ替えを実施。
天気も良さそうなので、いきなり株が化けることもあるので、よく観察しよう！

遅植えほ場 まだまだこれから！

分げつ促進の水管理を継続。飽水管理や浅水管理に加えて、ガス抜きの田面露出か水の入れ替えを実施。中干しに先んじて「溝切り」の実施も検討を。

的にできませんので、お勧めします。決して早植えほ場と比べてはいけません。

水稲生育調査結果集計表(JA調査、6/10)

品種名	田植え旬	草丈(cm)		莖数(本/㎡)		葉数(葉)	
		計測値	目標値比 (24cm)	計測値	目標値比 (125本/㎡)	計測値	目標値比 (5.8)
あきたこまちR	早植え	26.9	112.1%	194.4	155.5%	6.2	106.9%
	標準	25.0	104.2%	92.3	73.8%	5.4	93.1%
	遅植え	24.8	103.3%	77.1	61.7%	5.1	87.9%
サキホコレ	早植え	28.4	118.3%	121.4	97.1%	5.2	89.7%
	標準	25.9	107.9%	113.3	90.6%	5.3	91.4%
つぶぞろい	早植え	28.2	117.5%	211.8	169.4%	5.6	96.6%
ゆめおばこ	標準	26.1	108.8%	93.0	74.4%	5.7	98.3%
ZRI	早植え	34.5	143.8%	106.1	84.9%	4.9	84.5%
	遅植え	23.0	95.8%	152.7	122.2%	4.8	82.8%

※各営農センターでの調査結果を田植え日ごとに平均したものです。栽植密度等によって若干の違いはあります。

※早植えは5/19以前、標準は5/20～5/25、遅植えは5/26以降の田植えとしています。

※今回の目標値は、すべて「あきたこまちR」の数値を用いています。

ストップ！余り苗放置

補植用余り苗は、育苗期防除や箱処理剤を処理していたとしても、ほ場にあるだけでいもち病の伝染源となります。補植作業が終わったら、速やかに土中に埋没するなど確実に処分をしてください。

知っていましたか？実は苗を裏返しにしただけでは不十分です。枯れるまでの間苗は生きています。その間にいもち病菌が増殖・飛散する恐れがありますので、土の中に埋めて処分をお願いします。



オリゼメート粒剤散布適期

6月12日～18日

中後期除草剤も早めに散布

雑草の勢いがかなり強いです！一発除草剤の散布遅れとなったほ場では、中後期除草剤も、いつもより早めのタイミングで散布しましょう。

今年春先の乾燥によって、畦畔がややもろくなっています。除草剤散布前に漏水箇所が無いか確認をしてください。

※サキホコレ等、特別栽培米では使用できない農薬が指定されていますのでご注意ください。

農薬飛散にご注意

ご注意ください

本田での農薬散布が本格化します。農薬散布時は農薬飛散(ドリフト)しないように細心の注意を払ってください。少しの風でも近隣の作物に農薬が飛散し、被害が出てしまう可能性があります。風の無い時間帯や飛散防止カバー等の使用などご配慮をお願いします。

